

令和4年度 事業計画書

令和4年11月9日

公益財団法人福島県保健衛生協会

令和4年度 事業計画書

令和4年度の事業推進に当たっての基本的な考え方は、新型コロナウイルス感染症の影響は今後しばらく継続すると考え、全職員が一丸となって令和元年度の水準を回復することを目標とする。

そのために、まずは令和2年度及び令和3年度に事業を縮小等した自治体や企業に対して健診の必要性及び新型コロナウイルス感染症対策について丁寧に説明しながら各種健(検)診事業の充実、拡大を働きかけることに注力する。

一方で、少子高齢化の進行や情報化の進展という社会情勢の中長期的なトレンドを踏まえ、精度管理の更なる推進による健(検)診・検査事業等の質の向上はもとよりWeb予約方式の導入などにより顧客の安定確保に努めなければならない。そのためには、健診とIT技術を一体的に捉え、デジタル技術による社会の変化を踏まえた新たな健診モデルを構築していくことが求められる。

また、老朽化した建物等については、必要な調査等を行い、将来にわたって県民の健康保持・増進を推進していくための基盤となる建物等のあり方に関する検討を行い、機能や配置の最適化を進めなければならない。

以上のスタンスを堅持しながら、以下の取組を進めてまいりたい。

I. 事業構造におけるリスク分散と受診環境整備

令和4年度も年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響が続くと想定されることに加え、高齢化や少子化に伴う人口減少、さらには地域健診への依存度の高い当協会の事業構造を冷静に見極めながら、将来の方向性を明確に捉えた事業構造の抜本的な変革に果敢にチャレンジしなければならない。

そのために、現在の主力事業である地域健診について、受診者数の増加対策として、新規受診者の獲得や未受診者への勧奨、Webも含めた予約制の導入、受診環境整備によるリピート率の向上、地域特性に合った柔軟な健診計画等の各種対策を有機的に推進するほか、職域及び施設健診では、企業などの健康保険組合の協会けんぽへの移行が加速していることを踏まえ、協会けんぽとの共同事業による新たな受診者層の獲得や、定期健診と婦人科検診の同時実施の提案、顧客の要望に沿った多様なカスタマイズ健診の提案などに積極的に取り組むことで、競合健診機関との差別化を図ってまいりたい。

II. 重点分野の事業推進の考え方

1. 健(検)診・検査事業

地域健診では、予約型健診のウェイトを高め受診予定者数を正確に把握して待ち時間の軽減に努めるなど快適な受診環境体制を整えるとともに、新規受診者の増加に向けて特定健診受診率が男女ともに最も低い40歳代と50歳代に対する重点的な受診勧奨を実施する。

職域健診では、労働安全衛生法の法定項目以上の追加実施を促すために、事業所の業種や従業員の年齢層などに対応した具体的なカスタマイズ健診の提案に努めたい。

また、単一事業所の実施が困難な事業所に対しては一つの会場に複数事業所の従業員を集めて実施する集合型健診について働きかけをしてまいりたい。

- (1) 総合健診でベースとなる特定健康診査の受診券や受診勧奨通知(DM)に QR コードを組み込み、スマートフォン等から簡便に予約へ誘導する仕組みを構築することで、40 歳から 50 歳代の受診者をがん検診にも誘導する。
- (2) 予約型健診を継続的に推進し、受診環境の向上による待ち時間軽減と三密防止対策により継続受診者の確保に繋げる。
- (3) 資材準備から健診現場運営、結果通知の直送までを一貫して請け負う総合健診運営業務を積極的に働きかけることにより顧客の囲い込みを進めるとともに、総合健診会場で直接がん検診の追加受診について勧奨する「ひと声運動」を実施し受診者数の増加につなげる。
- (4) 顧客の業種や労働環境に則した項目をカスタマイズ健診として働きかける。
- (5) 定期健康診断の受診率が低い地域における複数事業所を集めた集合型健診の実施について協会けんぽ福島支部へ共同事業として提案する。
- (6) 乳がん検診では、定期健康診断との同時実施について提案し受託事業所数の増加を図る。

2. 総合健診センターにおける事業

市民検診、人間ドックにおいて Web 予約を開始するほか、リピーター対策として、人間ドック不定期受診者の方へ DM による受診勧奨を強化する。

コロナワクチン接種事業は福島市との協議により9月まで引き続き実施されるので、健診センターの稼働状況を踏まえ午後を中心として可能な限りの受入れに努める。

- (1) 受診者の受け入れ拡大を目的に、QR コードを用いた Web 予約を導入する。
- (2) 人間ドックは過去 3 年間に継続受診していない方を対象に、受診勧奨通知(DM)を 2 回発送する。
- (3) コロナワクチン接種事業も含めた総合健診センターの効率的な運用。

3. 理化学分析事業

飲料水や県民の身近な生活環境調査、労働者の健康を守る作業環境測定等について、顧客ニーズを的確に把握し迅速な対応に努める。

- (1) 個人サンプリング法による溶接ヒューム測定の未実施顧客へ測定を勧奨する。
- (2) 環境関連の規則改正や国、県の環境に関する動向・背景に注視し、新規検査を立案し顧客の開拓に努める。

4. 建物等のあり方に関する検討事業

急激に進む人口減少やデジタル化などの社会経済状況の変化に対応し、将来にわたって県民の健康の保持・増進に寄与していくため、当協会が所有する建物等については、単に機能を維持するだけでなく、その機能や配置の最適化を検討する必要がある。そのために必要な調査等を行い、将来の建物等のあり方に関する基本構想の策定に着手する。

5. 新たな健診システム導入事業

福島県の人口減少は加速化し、健(検)診受診者数の減少に歯止めがかからない状況が続いている。現在、健診における完全予約制の導入等により、受診者数の増加を目指しているものの、事業収入は伸び悩んでいる現状であることから、より一層の業務の効率化が求められている。

こうした中、現行の健診システムはアナログ的かつ非効率的な作業が多く、令和6年度には現行システムサーバーのリースアップを迎えることから、現健診システムに代わるデジタル技術を活用した効率的な新健診システムを導入することで、健診とIT技術を一体的に捉えた新たな健診モデルを構築し、受診者数の増加及び事業収入の確保増加に繋げる。

III. 基本的分野の事業推進の考え方

1. 健(検)診・検査事業

福島県民が全てのライフステージにおいて健康で活力あふれる生活を送れるよう、疾病の発見及び予防、健康の保持・増進事業を展開する。

- (1) 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、特定保健指導を始めとする充実した保健・栄養・運動指導の推進
- (2) 胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がん、骨粗鬆症、歯周病等の検診、尿中微量アルブミン測定及び推定食塩摂取量、風しん抗体等の各種検査の推進
- (3) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断、特殊健康診断、雇入れ時健康診断の実施
- (4) 全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診の推進
- (5) 学校保健安全法に基づく尿検査、心電図検査をはじめ、貧血検査、小児生活習慣病予防健診等の学童検診の推進
- (6) 新生児の先天性代謝異常症等の検査の推進(原発性免疫不全症やライソゾーム病等の新規対象疾患の導入)
- (7) 福島県、公立大学法人福島県立医科大学との連携による、被災13市町村等の県民健康調査「健康診査」の推進

2. 総合健診センターにおける事業

人間ドック、全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診、市民検診、事業所健診、雇入れ時健康診断、各種県民健康調査、外来診療(内科、婦人科)、上部消化管精密検査(胃内視鏡検査)、子宮がん精密検査、乳がん精密検査、予防接種等を実施する。

- (1) 県、公立学校、市町村、事業所及び個人を対象とした人間ドックの実施
- (2) 全国健康保険協会(協会けんぽ)生活習慣病予防健診や定期健康診断および雇入れ健診等事業所健診の実施
- (3) 福島市住民をはじめとする近隣市町村住民を対象とした市民検診(特定健診、各種がん検診等)の実施
- (4) 外来診療及び上部消化管精密検査、子宮がん精密検査、乳がん精密検査等の二次健診の実施
- (5) インフルエンザワクチン及びB肝ワクチン等予防接種の実施

3. 理化学分析事業

環境の保全と県民の健康を守るため理化学分析を通して社会に貢献していくことを目的とする。

また、登録検査機関として、水質汚濁及び大気汚染防止のための各種調査分析、水道法に基づく水質検査、作業環境測定、食品衛生検査等を行う。

- (1) 水道事業体への水質検査計画の策定等の支援及び定期、臨時の水道水質検査の実施
- (2) 各自治体等の河川調査及びそれらに関連した排水、飲料水、放射能検査等の実施
- (3) 事業所等の作業環境測定の実施
- (4) 食品製造者等のニーズに応じた、添加物検査、栄養成分検査などの検査 実施
- (5) 学校給食の放射能モニタリング検査

4. 普及啓発事業

公衆衛生に関する知識の普及啓発、相談及び調査研究等を行う。

- (1) 健康に関する各種講演会、研修会を開催するほか、市町村や企業、学校等が実施する講演会、研修会等への講師の派遣
- (2) 結核や肺がん、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患の普及啓発、全国の結核予防団体の事業支援などのための複十字シール運動への協力
- (3) 福島県健康を守る婦人連盟の事務局として、連盟が行う健康に関する普及啓発活動への協力
- (4) 福島県、市町村、医師会、歯科医師会等、関係諸機関が行う公衆衛生活動や啓発イベントへの協力
- (5) 予防医学事業中央会、結核予防会、日本対がん協会、それぞれの福島県支部として、各団体が行う各種活動への協力

5. がん基金事業

がん基金の運用益等を活用し、福島県民へのがんに対する正しい知識やがん予防思想の普及啓発を行うとともに、がん検診従事者の育成やがんに関する調査・研究への支援を行う。

IV. 主要な目標値

単位：人／件

項目	年度	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)	摘要
1. 結核検診				
(1) 学校保健		22,242	22,255	児童生徒数減少
(2) 地域検診		79,829	69,888	南相馬市キャンサースキャン(CS)使用、相馬市2年ぶり受診年
(3) 労働衛生				
ア 間接撮影				
イ 直接撮影・デジタル(協会けんぽ含む)		18,267	18,298	

項目	年度	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)	摘要
(4) 精密検査				
2. 胃がん検診				
(1) 地域検診		31,550	28,886	南相馬市 CS 使用、相馬市2年ぶり受診年
(2) 労働衛生 (協会けんぽ含む)		23,608	23,632	
3. 子宮がん検診				
(1) 子宮がん車検診				
ア 地域検診		16,681	15,930	国見町・桑折町で特定健診と同時実施、大熊町2年ぶり実施
イ 労働衛生		3,413	2,856	
(2) 子宮がん施設検診				
ア 地域検診		45,127	45,127	
イ 労働衛生		1,726	1,726	
(3) 子宮体がん施設検診		32	32	
(4) 子宮がん施設精密検査				
ア 組織診検査		520	520	
イ 細胞診検査		1,450	1,450	
4. 肺がん検診				
(1) 地域検診				
ア 肺がん検診(喀痰)		5,158	4,916	南相馬市 CS 使用、相馬市2年ぶり受診年
イ 肺がん検診(肺野部) (協会けんぽ除く)		79,829	69,888	南相馬市 CS 使用、相馬市2年ぶり受診年
ウ 肺がん・胸部検診		25,296	22,559	
(2) 労働衛生				
ア 肺がん検診(喀痰)		1,168	1,168	
イ 肺がん・胸部直接撮影		50,316	51,306	
5. 乳がん検診				
(1) 地域検診(いわき市除く)		19,909	19,584	
(2) 労働衛生		2,927	2,835	
6. 大腸がん検診				
(1) 地域検診		98,005	92,704	相馬市2年ぶり受診年
(2) 労働衛生(協会けんぽ含む)		31,353	31,828	
7. 特定健康診査				
(1) 特定健康診査		158,744	143,141	相馬市2年ぶり受診年
(2) 特定保健指導		2,250	2,124	遠隔面談
8. 骨粗鬆症検診				
(1) 地域検診		11,324	9,752	本宮市対象者増
(2) 労働衛生		498	644	

項目	年度	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)	摘要
9. 臨床検査 (件数)				
(1) 学校保健				
ア 寄生虫検査		1,360	1,360	
イ 尿検査		124,502	124,920	児童生徒数減少
ウ 心電図検査		66,852	67,120	児童生徒数減少
エ 血液検査		25,976	26,101	児童生徒数減少
オ 採血料		5,974	6,012	児童生徒数減少
カ その他の検査		18,158	18,202	児童生徒数減少
(2) 地域検診				
ア 血液検査		169,489	153,923	南相馬市 CS 使用、相馬市2年ぶり受診年
イ 健康診査		262,152	231,890	南相馬市 CS 使用、相馬市2年ぶり受診年
ウ 採血料		3,061	3,000	
エ その他の検査		136,077	122,779	飯館村で推定食塩新規
(3) 労働衛生				
ア 心電図検査		65,611	66,672	
イ 眼底検査		39,239	39,226	
ウ 尿検査		14,865	16,319	大口顧客減
エ 血液検査		223,568	227,239	大口顧客減
オ 健康診断(定健)		67,075	66,854	
カ 健康診断(その他)		8,457	8,512	
キ 血圧測定		13,966	15,436	
ク 採血料		68,304	68,735	
ケ 聴力検査		57,854	58,104	
コ その他の検査		161,037	162,660	大口顧客減
(4) 特殊健康診断				
ア 有機溶剤健康診断		6,640	6,672	
イ 鉛健康診断		396	397	
ウ じん肺健康診断		440	453	
エ 騒音健康診断		352	356	
オ VDT 健康診断		3,427	3,427	
カ その他の検査		6,405	6,464	
(5) 保菌検査				
(6) 医療機関からの受託検査				
ア 一般臨床検査		100	1	
イ 病理組織検査		1,620	1,619	
ウ 細胞診検査		23,350	23,963	
(7) 母子保健				
ア 先天性代謝異常検査		11,454	12,229	少子化加速

項目	年度	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績見込)	摘要
10. 口腔健康診査				
(1) 地域検診		671	670	
(2) 労働衛生		20	20	
11. 健康づくり事業				
(1) 健康づくり事業		74	72	
(2) 総合健康管理受託事業		38,084	30,014	大玉村・本宮市 運營業務、 桑折町 WEB 予約受託見込み
12. 総合健診センター				
(1) 健康診断		23,432	21,725	市民日程増加、PR 活動
(2) 二次精検		1,003	922	
(3) 人間ドック		3,774	3,311	Web 予約及び DM 実施 で受診者確保
(4) 予防接種等		31,922	56,387	コロナワクチン接種が R4.9 月までの実施のため減
13. 理化学分析事業				
(1) 水質検査		3,540	8,324	大口顧客減
(2) 大気測定		371	435	ガス分析依頼減
(3) 食品検査		54	7,679	食品衛生協会に係る自主検査 撤退
(4) 環境衛生	簡易専用水道施設 検査	1,120	1,200	料金改定による既存顧客の他 業者への移行で微減
	その他の検査	3,378	4,373	食品衛生協会に係る飲料水 検査が減少
(5) 環境調査(放射能測定等)		3,535	3,580	
(6) 作業環境測定		180	240	溶接ヒューム測定が令和3年 度だけのニーズのため減